

# 放送大学 北海道同窓会会報

## 第9号

発行 放送大学北海道同窓会  
編集 広報担当  
責任者 伊東 仁  
発行日 2007年8月10日（金）

会員数 117名（2007年7月31日現在）

### 北海道同窓会々長就任の挨拶

会長 伊東 仁

5月13日（日）の総会で牧野前会長が体調不良のため退任され、私が会長に選任されました。最初お話が来た時大いに迷いましたが、浪花節に弱いと言うべきか？最終的には緊急避難的にお受けする事としました。迷った点、受諾に踏み切った理由などをご披露申し上げて、挨拶に替えさせていただきます。

迷った点としては、

- (1) 私は放送大学に入って日が浅く、学内全般に対する知識が極めて乏しい・・・と言う事です。
- (2) 幸か不幸か現在失業中で学業に専念していますが、私はまだ海外コンサルタントと言う仕事を持っています。即ち「失業中の勤労学生」です。仕事が入りますと、会長の業務に支障無い様に最善の努力をしますが、基本的には「仕事優先」にならざるを得ません。

この様な迷いを打ち破ったのは、今まで放送大学で目撃した三つのシーンと私の人生体験であります。

- (1) 2年前の入学式の時、私の近くに座った女性は小学生低学年の子供さんを二人連れて来ていました。本年3月に語学研究会英語部門の人々を対象に「33年昔のアメリカ9ヶ月滞在と日米比較」と言う少し黴臭い話をしました。その時、幼稚園入学前の子供さんを連れた女性が聴きに来てくれました。又、ゴールドウイークに発寒川河畔でバーベキューをした時、江別市大麻で小学校の先生をしている女性は、2歳の女兒同伴でした。
- (2) 私の家内は、専業主婦で3人の子育てをしました。専業主婦でも、私の給料が安いので子育ては大変だった様です。今でも時々ぼやかれます。それ故、子育てしながら勉学すると言うのは大変な事だと思います。中には子供はいないが働きながら勉学している方、また育児しながら働きかつ勉学すると言う三重苦(?)の方もおられると思います。逆に言うと放送大学の場合、親から潤沢な学資金を貰ってパチンコやマージャンの合間に勉強していると言う優雅な学生はゼロか、ゼロに近いと推定されます。私は平素から「苦労しながら勉学している学生の負担を少しでも軽くしたい」と考えていました。
- (3) 私には4歳年上の兄がいます。終戦直後の食料難の時期、高校2年で結核に罹りました。医者は1年休学して療養する事を勧めたのですが、同期の友人達に遅れるのがいやなのと「両親が年を取っており、少しでも早く学校を出たい」と考えて、週1回通院しながら高校に通いました。病状は段々悪化し、高校を卒業してから4年間自宅療養する事となりました。親が年を取っており、本来ならば私は高校を出て直ぐ働くべき家庭環境に置かれていたのですが、両親は大学進学を許してくれました。高校3年の秋、兄の病状も回復し「無理しなければ大学に通っても良い」と医師の許可が出ました。両親は「今まで寝てばかりいて、入学試験を受けても合格する筈はない。受験料が無駄になるだけだ!!」と思いながらも「大学受験する」との病人のわがまを許しました。



家庭教師役の私の教え方が上手だったのか、両親の予想を裏切り（？）兄が間違っただけで合格して仕舞ったのです。ラジオで二人共合格した事を知り、父に伝えた時父は顔面蒼白となりました。私は、あの時の父の顔を終生忘れる事が出来ません。無理ありません。一人でさえやと・・・と言う家計なのに、二人合格して仕舞ったのですから。幸い親戚・知人など周囲の人々の精神的・物質的な援助で、兄の病気が再発する事もなく二人共無事4年間で大学を卒業出来ました。

本来ならば私的な話はここで終わるべきですが、「間違っただけで合格して仕舞った」兄のその後について、もう少し述べさせていただきます。兄は在学中「公認会計士試験（第2次）」に合格しました。そして、公認会計士の仕事をしながら独学で法律を勉強し、40歳近くになって司法試験にも合格しました。公認会計士試験・司法試験両方を合格した第1号です。「経理も判る弁護士」として重宝がられ、間もなく喜寿と言うのに引退出来ないでいます。昨年度まで北大経済学部同窓会会長を4年しておりました。北大が法人化された時に監事に就任し、毎週月曜日の役員会に出席する他、入学式、卒業式には北大総長の隣に座っています。

兄は高校時代数学が得意で、将来数学の教師になる積りでした。併し、結核が進路を大きく変えました。大学は、理系に比べ授業の少ない文系に進み、学部は当時（今も？）「猫よりも暇」と言われた経済学部を選びました。当時結核の大きな痕跡が残っている学生を採用する企業や官公庁はどこにもありません。自由業しか残っていません。「若い時に、こんな人生になると考えた事は一度もなかった」と本人も述懐しています。

種々の困難を乗り越えて勉学に励んでいる放送大学の学生が壁にぶつかった時、挫折する事なく「人間万事塞翁が馬」「禍福は糾える縄の如し」「Never give up!!」と言う言葉と明るい未来を信じてもうひと頑張りして欲しいのです。人間は、生きている限り「与えられた条件の中でベストを尽くす」のが一番大切だと思います。

- (4) 私は皆さんが味わった事のない体験もしています。外国語での勉強です。「技術進歩の激しい世の中で、お前の学力では不十分」と会社に太鼓判（？）を押され、アメリカでの勉強のやり直しを命ぜられました。日本語で聞いても判らない事は、英語で聞くと益々判らなくなって来ます。この苦しみは、外国語で勉強した経験のある人しか理解出来ないと思います。私が子供の時、日本はアメリカと戦争中で「鬼畜米英」と教えられました。併し、アメリカ人と付き合っただけで何一つ不愉快な事はありませんでした。仕事に行った関係から、私は今スリランカ交流会に入り、北大や室蘭工大の大学院で勉強しているスリランカからの留学生に対し、花見、富良野のラベンダー、函館山の夜景・・・などに案内する他、あちこちの工場見学にも案内しています。少しでも快適な留学生生活を送れる様に・・・とのボランティア活動で、お世話になったアメリカの人々に対する間接的な恩返しでもあります。

上記アメリカでの講習会に参加する出張旅費は、授業料、旅費、下宿代全部合計して444万円でした(今なら1000万円以上)。私は「電気料金を経由して道民の皆さんから、1円ずつカンパして頂いた」と受け止めています。皆さんからカンパして頂いた分は、電気料金を介して充分過ぎる程お返ししたと自負しておりますが、私の持っている余力の範囲内で更なるお返しをする事になんの異存もありません。

長々と種々の事を申し上げました。放送大学に入学して日も浅く、余り単位も取っていません。併し、苦勞して勉学している学生への支援の気持ちは誰にも負けない積りです。どうぞ宜しくご理解、ご支援の程お願い申し上げます。

以上

# 「おれのことば」

前会長 牧野金太郎

思い返せば、2年半前台風18号が荒れ狂っている中、所長先生より「同窓会を再建してほしい」とのお話を頂き、運営委員長として4名の運営委員の方と共に顧問名による臨時総会の準備をしました。何回かの会議を終えて校舎の外に出たら季節は、いつの間にか中秋になっていました。天空にかかっている月が美しく見えた事を覚えています。

私は、10月1日の臨時総会で、会長に選出されました。この総会において、会則が正式に決定されました。この臨時総会は放送大学北海道同窓会が、新しい出発する事を承認しました。したがって2004年10月1日こそ、我が同窓会が新発足した日であります。私は誠心誠意、私心なく、ひたすら会員に友和(単なる融和でなく)と連帯を呼びかけ努力してきたつもりです。しかし、総会での信任投票は、ついに満票を頂戴する事はありませんでした。これは不徳のいたすところと思っています。在任2年6ヶ月は短いようで長かった気がします。幸い両副会長、幹事の方々には献身とも言える協力を頂きました。これもひとえに皆様のご協力ご支援もあったことと感謝しております。病気のためとは言え、3月卒業生の皆様にはご挨拶も出来ずにお詫びの言葉もありません。この席でお許しを乞う次第です。

鈴木、大橋両副会長、並びに役員の方には、ご苦勞をおかけしました。去る6月30日開催の第3回の全道生涯学習研究発表会を成功させたのも大変な仕事でした。特に今年から道民カレッジ連携講座として開催され、名実ともに『全道』の名にふさわしいものにする第一歩を踏み出しました。振り返れば、思い出はいろいろありますが、やり得なかったことは、伊東会長にお願いする次第です。放送大学で足りないことは、「赤ペン先生」がいないことだとも言われます。同窓会で『学習アドバイザー』を養成してほしいものです。ぜひ、新役員に暖かいご支援ご協力をお願い申し上げます。末尾になりましたが、放送大学と放送大学北海道同窓会の益々なる発展と会員皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。皆様、長い間ありがとうございました。

追伸：6月30日第3回全道生涯学習研究発表会の席上、伊東会長より感謝状と副賞をお贈りいただきました。身に余る光栄と感謝しております。

なお、小生の感謝の気持ちをこめて北海道学習センターに『みえる数学の世界』全3冊をご寄附しました。

(7月12日 記)



2007/06/30 牧野前会長へ感謝状贈呈



## 『 2007 年度定期総会の報告 』

5月13日(日)16時から北海道学習センター小講義室において、2007年度の定期総会が開催され、下記提出議案について、提案どおり可決承認されました。  
なおこの総会限りで病気のため退任される牧野会長の後任には伊東会長が選出されました。

### 記

#### I (承認された事項)

- |                 |                             |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. 2006年度事業報告   | 2. 2006年度収支決算報告             |
| 3. 2006年度会計監査報告 | 4. 2007年度事業計画               |
| 5. 2007年度会計収支予算 | 6. 2006年度の定期総会で『会則の1部、補充役員』 |
| 7. 2007年度役員選出   | に関する付託承認事項                  |

#### II (新年度の事業計画及び会計収支予算)

##### 2007年度事業計画

##### 1 諸会議の開催

- ア 定期総会を5月に開催します。
- イ 役員会は必要の都度行います。
- ウ 三役会、臨時役員会は必要に応じて行います。

##### 2 各種の行事

- ア 「卒業・修了を祝う会」を年2回の「卒業証書・学位記授与式」に合わせ開催します。あわせて卒業生の感想文を「ひとこと集」にまとめ発行します。
- イ 第3回全道生涯学習研究発表会を(6月30日(土)予定)開催します。  
今年度から道民カレッジとの連携講座として行います。
- ウ 学習センターとの意思疎通と親睦を兼ね、1月に「新春のつどい」を行います。
- エ その他の行事として、座談会形式の行事の実施を検討します。

##### 3 会報の発行

- ・年3回を目途に発行します。

2007年度会計収支予算（2007年4月1日～2008年3月31日）

（一般会計）

（単位 円）

|            | 科 目 | 予 算     | 備 考                    |
|------------|-----|---------|------------------------|
| 収<br><br>入 | 繰越金 | 157,468 |                        |
|            | 入会金 | 10,000  | 10名                    |
|            | 年会費 | 116,000 | 前受金67,000 新・継続会員49,000 |
|            | 合 計 | 283,468 | *新年度会員数 116名で予算編成      |

|            | 科 目         | 予 算     | 備 考                   |
|------------|-------------|---------|-----------------------|
| 支<br><br>出 | 通 信 費       | 50,000  | 会報発送3回 議案発送・その他       |
|            | 事 務 費       | 20,000  | 封筒・宛名ラベル・ほか事務用品       |
|            | 行<br>事<br>費 | 生 涯     | 21,000 第3回全道生涯学習研究発表会 |
|            |             | 会 報     | 10,000 会報・広報費（3回）     |
|            |             | 祝う会     | 22,000 卒業を祝う会年2回      |
|            |             | その他     | 10,000 座談会・講演などの行事を予定 |
|            | 交 通 費       | 15,000  | 役員会出席の際交通実費の1部補助      |
|            | 予 備 費       | 135,468 |                       |
|            | 合 計         | 283,468 | 会費を徴収する行事は都度金額を決め実施   |

### Ⅲ（定期総会における承認事項）

#### 放送大学北海道同窓会会則の一部改正について

現行会則（2004年10月1日制定）の条文中、2006年度の定期総会において審議の上付託された条文をとりまとめ第9条の2項として整理した。

第9条 この会の役員の任期は2年とします。再任は妨げません。ただし、会長は3期を越えないものとします。（現行どおり）

2. 総会が開催されていない期間中に役員に欠員が生じた場合、役員会が総会に代わって後任者（以下、補欠役員という）を決めることができます。補欠役員は前任者の残任期間とします。また、総会開催中に役員が任期途中で辞任した場合、新たに選出された役員の任期は、前段にある補欠役員と同様に前任者の残任期間とします。（2項として整理した項目）

### Ⅳ（役員改選）

| （2007年度新役員） |              | （退任役員）                             |         |
|-------------|--------------|------------------------------------|---------|
| 会 長         | 伊東 仁         | 会 長                                | 牧野 金太郎  |
| 副会長         | 鈴木 一雄・大橋 ちよ子 | 幹 事                                | 水戸部 登久三 |
| 幹 事         | 鈴木 誠・安藤 典子   |                                    | 鳴海 雄介   |
|             | 内海 研・園田 康子   | 会計監査                               | 佐藤 裕子   |
|             | 小野 千秋・佐々木 修一 | * 退任役員の皆様には、大変ご尽力を<br>頂き有難うございました。 |         |
| 会計監査        | 竹井 俊介・宮腰 敏彦  |                                    |         |

### 第3回全道生涯学習研究発表会を終えて

北海道同窓会では、生涯学習されている北海道同窓会会員の皆さんにご参加いただき、お互いの経験を交流し楽しく学習をすすめる契機になることを願いながら

1. テーマ : だれでもやれる生涯学習をめざして
2. 日時 : '07年6月30日(土) 10:00~16:30

北大構内 放送大学北海道学習センター 6階

上記にて道民カレッジ連携講座と連携で82名の多数の参加・協力のもと開催されました。



#### I. 記念講演

講師 放送大学 北海道学習 センター所長  
日本学術会議連携会員

Ph. D. 富田房男 先生

演題: 「偽科学 間接科学 正しい科学」

～生涯学び続ける楽しさを求めて～

#### II. 発表概要

##### 1. 「生涯学習と放送大学」

放送大学 学士(教養)

生活と福祉専攻 2007年3月卒業

園田康子



##### 2. 「札幌遠友塾自主夜間中学」

～17年間、学ぶ意欲に学んで～

放送大学生(教養)・道民カレッジ受講生

工藤慶一

##### 3. 「二宮金次郎と北海道」

—北海道における報徳思想のながれ—

放送大学生(教養) 人間の探求 専攻

武口米吉



#### 4. 統合失調症の予防に向けての一考察

—『そだち』に関する母親からの聞き取り調査を参考に—

放送大学学士(教養) 発達と教育専攻

松田 恵子

#### 5. わたしの生涯学習— (紙上発表)

放送大学 北海道同窓会 前会長

放送大学学士(教養)・道民カレッジ受講生

牧野 金太郎

付録— 私たちの行う研究とは



第3回全道生涯学習発表会 **記念講演に** に出席して

放送大学教養学部 全科履修生 山浦 優子

講師 放送大学 北海道学習 センター所長 日本学術会議連携会員

Ph. D. 富田房男 先生

演題:『 偽科学 間違い科学 正しい科学 』

～生涯学び続ける楽しさを求めて～



「偽科学」ってなに？



この「偽科学とは」に興味を持ち講演に参加しました。

正しいテーマは「偽科学 間違い科学 正しい科学」です。

科学者であり、この放送大学北海道学習センター所長である富田房男先生のお話は大変にわかりやすく日頃、意識の外に置かれている「科学」的なことがより身近なものとして理解することができました。

まず、「科学」とはなにか。

「反証できうる仮説のみが科学的な仮説である。そのような科学的仮説で組立てられた体系が科学である。」言い換えると「事実に基づいて客観的に判断し、主観的な価値基準による判断を排除する。」のが科学者の本来の姿でなければならない。ということ。

さて、なかなか難しいのですが、「What (どんなもの)、How (どうやって) が科学であり Why (なんのために) は科学ではない。」という先生の説明でようやく理解できました。

つぎに「間違い科学」とはなにか。

「良心的な努力にもかかわらず知識・経験・技術の不足による間違い」と定義されています。このようにならないようにするのはもちろんのことこれを悪意を持って使われてしまうと「偽科学」になるということです。

そこで、いよいよ「偽科学(疑似科学)」とはなにか、ですが

「科学でないものを科学に見せかける」ものを指し、ほとんどは商売に繋がり、儲けを狙ったのもで、あるといえるもの。例を挙げると、占星術、パーミューダトライアングル、雪男、幽霊、オーラ、テレパシー、ノストラダムスの予言、血液型と性格、マイナスイオン等々。私は「血液型と性格」などは真偽など考えずに、ごく自然に受け入れてしまっていたのですが。皆さんの中にもこれが全部偽科学なの？と思われる方がいるのではありませんか。

それでは、人はなぜ騙されるのでしょうか。

それは、「人の心の中には自分が『面白い』と感じ『幸せ』が感じられるならば疑似科学の真偽はどうでも良いとの部分がかなりあるだろう。」とありますが先ほどのように自身に置き換えてみても大いにありえることです。



そこで、騙されない方法はあるのでしょうか。

「大切なことは子供の時から何が合理的(科学的)で何が非合理的(非科学的)かを訓練すること、つまり疑う心を持たせ「信じること」ではなく「考えること」の重要性を叩き込み、そのためには質問すること、討論することで合理的思考を身につけることであろう。」とあります。

今までの自分を振り返ってみると、このような考え方を意識してこなかったと思います。合理的思考を取り入れるにはかなりの努力が必要です。それでもこれからは、「偽科学」に騙されないように自分で考える人にならなければなりません。そのためにも放送大学において、多くの人と出会い、楽しくさらに多くを学び、深く考える、このような生き方を目指していきたいと思います。

この講演を聴いてから2学期の講義に科学の分野を一つ取りました。私にとっては未知の分野でしたがこれからは視野を広げて挑戦していきたいと思います。

富田先生ありがとうございました。



## <発表内容の紹介と感想>

### 自主夜間中学の17年と今

工藤慶一



工藤慶一と申します。石油販売会社に勤務し、資金面を担当しております。旭川生まれの58歳です。放送大学は理数系の科目のみ22単位を取得しておりますが、現在中断しています。その理由は、今行っているボランティア活動がとても忙しくなってきたからです。

札幌には、戦争や病気などでの理由で学ぶことのできなかった人達が、毎週水曜日の夜、教育文化会館の会議室を教室にして学ぶ学校があります。名を札幌遠友塾自主夜間中学といいます。1990年に始まり、今までに253名の卒業生を送り出してきました。受講生の年代は10代から80代と幅広く、現在も85名の人達が学んでいます。遠い友と書く「遠友」という名は、昭和19年まで50年間続けられた遠友夜学校からいただきました。この学ぶ場を設けた理由は、日本国憲法第26条にある教育を受ける権利を實在のものにしたいという願いからでした。

遠く旭川・風連・釧路・函館から通った卒業生もいました。小さい時に子守に出された為に学べなかったある女性は、結婚しようと思ひ相手の実家に行ったところ、彼のお母さんから「教育のない母親に子供を育てることはできませんよ」と言われ、二度と結婚しようと思わなくなった事や友達と待ち合わせをしてもビルの名前が読めなかった為大変困った事などを教えてくれましたが、ようやく遠友塾にたどりつき、立派な作文が書けるまでになっています。この他にも中国残留孤児やその家族の人達、就学免除で学校へ行ったことのなかった車椅子の方、不登校の子どもたちなど、たくさんの人々が遠友塾の門をたたきます。

昨年の8月10日、日本弁護士連合会の人権擁護委員会から政府に「学齢期就学することのできなかった人々の教育を受ける権利の保障に関する意見書」が提出されました。これは全国夜間中学研究会（全国34校の公立夜間中学校と20校の自主夜間中学で構成）が人権救済の申立を行い、日弁連が受け入れたものです。この意見書の内容を基に、教育に関する以下の要望書を札幌市と北海道に提出しました。

## 要 望 書

義務教育を受ける機会が実質的に得られなかった人達の実態把握を可能な限りすすめながら、

- (1) 道内の自主夜間中学に対する施設の提供と財政的支援を行うこと。
- (2) センター校の役割を担う公立夜間中学校を札幌市に開設すること。
- (3) 個人教師の派遣などの施策を進めること。
- (4) シニアスクールなど、既存の学校の受け入れ対象者を拡大すること。
- (5) 住所変更届けや病院の問診表など、公的書類の漢字に「ひらがな」をふり、苦しみを和らげること。

北海道には10万人をこえる実質的に義務教育を得られなかった人々がいると推定されます。これからもこうした声に全力で応えていきたいと思ひます。また、こうした要望がすこしでもかなえられる時がきたら、放送大学での学びを再開しようと考えています。

\*\*\*\*\*

### <発表後の感想>

何かまとめて書こうと思ひていましたが、夜間中学のことで考え、実行する事が重なり、感想文としてはお出しせず、当日の文章をそのまま使っただきたいと思ひます。

- (1) 人と人との出会いの素晴らしさが今回も感じられ、嬉しい気持ちです。
- (2) 牧野先生の気持ちに添えたかどうか不安ですが、精一杯やらせていただきました。
- (3) 体験発表が二つと、研究発表が二つのバランスがとても良かったと思ひます。
- (4) カレッジ生の中には、放送大学のことを、知らない人も多かったと思ひます。

(5)次回からは放送大学の資料をそろえ説明する必要もあるのではと感じました。

これから以降、具体的に同窓会の一人として何ができるかは今後の課題として考えていきたいです。よろしくお願いします。

以上

公立夜間中学  
開設を目指す  
くどう  
工藤  
2007.5.28  
慶一さん道新



戦争や閉校などのた  
め、中学校で学べなかつ  
た人たちにホッパシテ  
が勉強を教える公立夜間  
中学「札幌道新」の代  
表。塾を運営するうち、  
公立夜間中学の必要性を  
痛感し、五月十九日、北  
海道に夜間中学をつくる  
会を設立した。

ひと2007

理想の学びの場求め

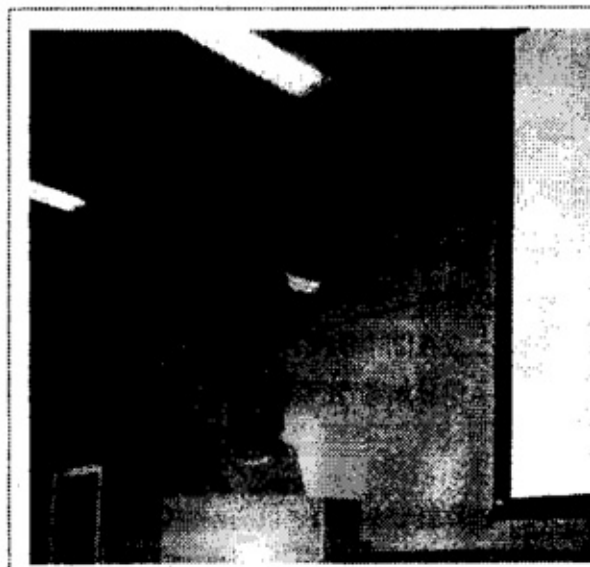
公立夜間中学があるが、道  
内には一校もない。二十  
二日は、つくる会の和  
平市に夜間中学を開設す  
るよう要望した。

北海道出身の「開校の  
準備」に奔走している。卒業生と教  
員、ベトナム支援や人間  
関係の活動を生む教育のあり  
方。八歳。 (川村史子)

←2007/05/24 北海道新聞掲載

工藤慶一

e-mail: kudukei@jcom.home.ne.jp



## ～ 卒業研究の振り返りの機会 ～ 松田 恵子

ある日、同窓会の運営をされている大橋さんからお電話をいただいた。今年の春、6年かけて何とか放送大学を卒業できた私は、ホッとした気持ちと学生生活から離れてしまい淋しい気持ちでいた時だった。そんな時にいただいたお話だった。突然のことだったので、ちょっと戸惑ったが、まだ不十分なまとめだった卒業研究の振り返りの機会となり、統合失調症のことを皆さんに知っていただく良い機会となると考え、お話を受けさせていただいた。

しかし、準備の大変さなど考えもしていなかった。リハーサルをするという連絡をいただき、自分の順番の時間帯に間に合うように学習センターに出掛けたが、そこには同窓会の運営に当たっている皆さんがいて、朝から夕方遅くまで準備に動き回っていた。発表会の当日にむけ、印刷・冊子作り・私のスライドづくりなど何度も集まって準備されていた。毎年行なわれていた「研究発表会」は、同窓会の運営を担当されている皆さんの力で支えられていることを、あらためて知ることができた。当日の私の発表はしどろもどろではあったが、参加された皆さんから多くの質問をいただいたことから、私のつたない発表を真剣に聴いてくださったことを実感でき、有り難かった。一緒に発表された方とも知り合うことができ、とても有意義な1日となった。この機会をいただきました、同窓会会長を初めとする運営担当の皆様にご心よりお礼を申し上げます。



## ( 会員の声 )

札幌市豊平区 関口正子

3月 NHK 渋谷ホールの卒業式に出席し大変感動致しました。現在高齢の両親のことで悩む日々ですがこれも“福祉の勉強”と思いがんばります。“生涯勉強、生涯青春！”をモットーに前進していきたいと思っていますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧市 岡田 里江子

役員の皆様何かとありがとうございます。今年から、自然観察指導員として放送大学で学んだことを生かして活動して社会に還元します。



札幌市北区 前田 久

皆さんの会運営ご苦労様です。さて、会報も年々充実しておりますね。伊東さんの提案は1考に価します。

地域のケアハウスで高齢者の方々にかかわる仕事に携わっております。自分が高齢になった時のことなどを考えながら仕事をしている日々です。



苫小牧市 大場あゆみ

「放送大学北海道同窓会会報」いつも楽しみにしております。ありがとうございます。

放送大学で学んだ勉強が生活に種々な出来事に遭遇したときにとっても役に立ち、気持ちも豊かになっています。放送大学の授業で新しい知識を知る喜びを感じました。

## <2007 年3月卒業生からの寄贈図書のお知らせ>

2007 年 3 月卒業生から下記の図書を放送大学北海道センターに寄贈いたしました。7月26日に手渡しましたところ、早速、図書の入り口近く同窓会寄贈図書コーナーに並べてくださいました。会員の皆様や学生の方に読んでいただきたいと思います。お友達やお知り合いの学生の方々にもお伝えくださり、学習センターの寄贈図書コーナーにて、他の26冊と共に手にとってご覧ください。

1 NHK 世界美術館紀行

全 10 巻

NHK 出版

2 メンタルヘルス実践大系

日本図書センター

全10巻のうち1～2巻

(1) こころの発達

第1巻

責任編集：小比木啓吾 . 荒井淳雄 . 長谷川義雄

(2) からだの不調

第2巻

責任編集：永田勝太郎 . 矢野純 . 高田公子

---

## 「豊かさのある住まいのかたち」

### ～北海道にふさわしい住まいとは～

全科履修生 生活と福祉 武井 章二

#### 研究テーマの概要

北海道の住宅が戦後どのように変遷してきたか、基本的な住宅の間取りやその特徴が日常生活にどのように影響するかを検討するとともに、さらに高断熱・高気密・暖房・換気システム等の寒冷地の生活に必要な住宅の基本的性能を調べ、北海道にふさわしい住まいを研究する。また、ツーバイフォー工法、壁線区画による設計手法を研究する。

#### 1. 北海道の住宅平面の変遷および特徴の研究

○戦後北海道の住宅平面はどのように変わっていったのだろうか。

①昭和30年代前半は、平面形状としては「田の字型プラン」です。部屋通過型で、居間以外の部屋を通らなければ他の部屋へいけないプランです。性能は無断熱、低気密の時代でした。②昭和30年代後半から40年代にかけては、「居間中心型」です。居間(LDK)だけを通して他の部屋へ行けるプランで、道公建売のプランです。性能は、低断熱で、2重窓の時代です。③昭和50年代は、「居間中心型」の変質であり、居間と台所・食堂がいっしょになったダイニングキッチンであり、個室型プランです。性能は高断熱、高気密です。④50年代後半から近代は、「立体的居間中心型」と言いまして、居間に階段を持っています。性能は高断熱・高気密・暖房・換気システムの開発が進化してきました。

#### 「立体的居間中心型」空間構成の特徴

- 玄関ホールが居間に取り込まれたことにより居間が拡大していること。
- 階段室を通して2階の各室も暖房できること。
- 通常2階に配される子ども室は居間を通過しなければならず、子どもの管理が容易であること。

#### 2. 寒冷地住宅の基本的な性能の研究

○住宅計画 豊かさのある住まいのかたち

北海道の住宅は、最近住宅の高断熱化・高気密化・暖房・換気システムの開発が進み、寒冷地の生活にふさわしい基本的な性能がようやく住宅に備わってきました。

住宅とは、人間の生活の基本となる“器”であり、性能面ばかりでなく住宅の間取りの面で機能性やゆとりの点からも、北海道にふさわしい住宅を考えていく必要があります。

生活空間の中に日だまりの暖かさをいかに取り込んでいくか、家の中から寒さをいかに排除し、いかに雪と共生して暮らしていくかなどが、家づくりを行う上で大切なポイントになります。

外観デザインやインテリア、家具調度品に趣向を凝らしただけでなく、真の豊かさのある住まいの形を求めて、快適な生活を送れるような間取りや空間の実現を最優先に考えていきたいものです。

## ○雪処理 雪と暮らす住まいづくり

降雪量の多い地域の、戸建住宅では、玄関や駐車スペースなどのアプローチ部分の除排雪の労力負担は大きく、屋根雪による障害も多く発生しているため、雪処理方法の基本的な事項を考慮し、建物計画などを行うことで除雪労力が軽減され、雪に関するトラブルの少ない住宅をつくることが可能となります。

## ○室内環境 四季を通じて快適な住宅

最近では、住宅の高断熱・高気密化が進み「省エネルギーで快適な住宅」が一般的になりつつあります。「快適な住宅」の条件は、次の3つがあげられます。

- ・寒さや暑苦しさを感じない住宅
- ・健康な生活がおくれる住宅
- ・清潔で長持ちする住宅

このような住宅をつくるために、不可欠なものとして、「断熱」、「気密」、「暖房」、「換気」の4つのバランス良く考えていくことが、大切です。

北海道の住宅は、断熱性能や気密性能が向上し、全室暖房も定着してきており、寒いところが無くなってきています。

## ○ 断熱気密 これで暖か住まいのしくみ

冬に限らず一年を通して、快適で健康的に暮らすことのできる家に住むことは、私たちの暮らしを支えるうえでとても大切です。

北海道のような厳しい気候風土の中に建つ住宅として、外の寒さや風・暑さに影響されない快適な生活空間が確保されていることが、最も基本になくってはなりません。少ないエネルギーで、いつまでも快適に暮らせる住宅をつくっていく必要があります。建物の断熱・気密化は、そうした住宅づくりにとって欠かすことのできない要素です。急速な断熱化の一方で、冬期間においてさまざまな問題も生じてきています。なかには、住宅の耐久性や安全性の低下、住む人の健康をおびやかすような問題もあります。また、断熱化したわりには、暖房用エネルギーが節約できず、快適性が十分なレベルまで向上していない場合も多く見られます。

こうした問題が解決された断熱・気密化手法を選んでいくことが、私たちの住宅づくりの第一歩でもあるのです。住まいづくりの基礎知識 北海道建築指導センター発行を参考に研究する。

## 3. ツーバイフォー工法による平面計画の研究

○プラットホーム工法 この工法は、1、2階の床枠組が、作業台としての役割を果たすことが、この工法の特徴となっています。構造的にはプラットホーム工法といい、北米で研究された Plywood、diaphragms (合板面構造) の応用によって構築する工法です。

ツーバイフォー工法、壁線区画による設計手法を研究する。面積の基準に合致するように一定方向にブロックを分けます。その上に、2階も同じ方向になるようにし、次に部屋の配置を決定して行きます。(例えば、①X方向②Y方向、①2k×4k、②1.0k×4k、③1.5k×4k、の組み合わせです。)

---

この研究することにより、北海道にふさわしいより良い住宅の設計が提供できればと思います。

## ＜琉球王国の名残を求めて——沖縄紀行——＞

伊東 仁

2年前の平成17年4月に放送大学に入学し、6月上旬初めての中間テストを提出した緊張感から解放されて、幕末の対馬事件（露寇）の地へ一人での修学旅行を思い立った。対馬事件の現場には船でしか行けない事が判り、日程不足から断念したが、種々資料を入手出来たので目的はほぼ達成された。日本海海戦時の資料も入手出来た。予想外の収穫があった。元寇の時の資料である。

日本の教科書などでは、博多湾に元の大軍が襲来したところから始まっていて、その前段階が省略されている。鎌倉幕府は元軍の襲来を知っていたが、何の防衛策も取らなかった。元軍は、博多湾へ襲来する数ヶ月前に壱岐・対馬両島を占領して兵站基地とした。両島民は、船の修理・建造に狩り出され、食料を略奪される等、多大な被害を受けた。郷土史にはこう書かれている。「元は単に通商を求めて来ただけである。それに応じていれば、元軍が攻めて来る事はなかった。鎌倉幕府執権北条時宗の外交感覚が欠如していたために元軍が襲来し、対馬・壱岐の島民が多大な被害を受けた」と書かれていて、眼を丸くした。入学以来「近代日本と国際社会」「韓国朝鮮の歴史と社会」「アメリカの歴史」「近代ヨーロッパ史」「東アジアの中の中国史」と歴史を中心に勉強して来ました。権力中央から遠く離れた辺境の地の扱いについて注意深く読む様に努めました。

明朝末期に台湾西側にある澎湖島諸島がオランダに占領された。明朝政府は「台湾をあげるから、澎湖島を返して欲しい」と要求し、何百倍もの土地との交換であるからオランダは喜んでこの取引に応じ、台湾南部を植民地として日本との貿易の中継地点とした。明治初期沖縄・宮古島の漁民が台湾南部に漂着し全員が殺された。明治新政府の抗議に対し、清朝政府は「あそこは化外の土地だから・・・」として責任を回避した。現在中国政府は「一つの中国」を主張しているが、歴史的経緯を考えると「???」とも思う。

日本の歴史教科書には、琉球王国についての記述が無い。関が原の戦いの後、薩摩藩に攻められて奄美諸島を取られ、清朝の他に薩摩藩にも両属する事になった。清や東南アジアとの貿易で多大な利益を上げた。幕末、薩摩を中心とする朝廷軍が幕府軍に勝った。これは琉球貿易で得た多額の資金で、最新の武器を買い集めたからである。

「北方領土は・・・」と書きたいが、止めよう!!本稿の主目的ではないし、長くなる。只、麻生太郎外務大臣は、祖父吉田茂が首相当時の国会答弁と逆の事を言っている・・・とだけ述べる事とする。

3月に台湾へ修学旅行したので、今回沖縄へ修学旅行に行く事とした。私は初めてであるが、家内は3度目である。沖縄に関する本とか新聞記事で、沖縄の地名をある程度知っているが、それが北部にあるのか南部にあるのか全く判らなかつた。バスの隣の席に座っている家内が知っていて大変便利であった。引き潮の関係でグラスボートが出ない・・・との事で、午前と午後の行程をチェンジした事があった。私は何も判らず平気であったが、家内は「同じ場所を南に行ったり、北に行ったりしている・・・」と苛立っていた。

琉球村には、昔の建物が保存されていた。体験教室があって、家内は「三線の体験教室」に加わった。三味線の心得がある家内にとっても三線は難しく、途中でギブアップして先生に弾いて貰った由。琉球舞踊が30分ほどあった。家内は日本舞踊の心得もあるが、腰の使い方、足の使い方が難しい・・・と感心していた。日本舞踊にはない踊りで、腰を落として足を曲げ、コサックダンスに似ている部分もあった。沖縄民謡は、聴いていても意味が全く理解出来ない。今まで「人種的に我々大和民族と異なる民族だ」と思い込んでいた。併し、旅行前に読んだ岩波新書「琉球王国」（高良倉吉著）によると「中世の日本語が変化せずに残った」のだと言う。私の母方の祖父母は津軽出身で、少し津軽弁が判る。津軽弁も我々の話す日本語と「似て非なるもの」である。津軽弁と沖縄弁を比較すると、沖縄弁の方が我々現代の日本人の話し言葉に近いかも知れない。鹿児島弁と同じく、津軽弁も幕府の隠密対策として変化して行ったのであろうか？

最終日の4日目は、夜半から強い雨であった。念願の首里城に到着しても、弱まる気配はなかった。緩い上り坂を上り始めた。ガイドさんが一生懸命説明するが、殆どの人が聞いていなかった。「早く雨の当たらない所に入りたい」の一心であった。幕末にアメリカのペリー提督は、日本を訪れる途中首里城に入り、徳川幕府よりも先に「琉米和親条約」を締結している。「日本遠征記」に軍楽隊がこの坂を上る記述がある。首里城に関する私の予備知識は、この程度である。漸く屋根の下に入った時は、傘を差していたにも拘らず、雨はジャンパーを通り抜けて、シャツも少し濡れて来ている。南国とは言え未だ4月。風邪を引かない様になければならない。傘をビニール袋に入れ、靴の重さ以上に水分を吸った靴もビニール袋に入れる。ジャンパーはそのまま手に持つ事とする。漸く雨の始末を終え「さあ見学だ」となった。用心のためトイレの場所を聞いた。既に通り過ぎた門の所だと言う。この先は、建物二つを通り過ぎた出口近くにあると言う。絵画や書が沢山展示されているが、ゆっくり観る気分にもなれない。説明のパンフレットだけ抜き取り先へ急ぐ。皮肉な事に建物を出ると雨は小降りになっていた。急いだ分だけ早くバス駐車場に戻ったので、郷土資料館の売店で本を探す。「沖縄の歴史」と言う本を買って満足する。

最後の日の午後は、「ひめゆりの塔」と糸満市摩文仁の「平和祈念公園」見学であった。「ひめゆりの塔」の前に深さ3mくらいの堅穴があり、横に天然のトンネル入り口が見える。このガマ（天然の洞穴）に籠もってアメリカ軍と戦ったのだと言う。「平和祈念公園」では、アメリカ軍に包囲されて逃げ場を失った一般婦女子が海に飛び込んだと言う「バンザイ・クリフ」を覗いた。ここで、私の意識は「琉球王国」時代から「昭和」に戻った。馬鹿げた戦争を始めたものである。昔アメリカに9ヶ月滞在中「こんな大国とよくもまあ戦争する気になったものだ。『盲蛇に怖じず』とはこの事か!!」と何回か感じた事を思い出した。

長年中ロ国境問題を調査研究され、その結果を基に書いた中公新書「北方領土問題」で今年1月朝日新聞・大仏次郎論壇賞を受賞した岩下明裕北大教授の講演を聞いた事があります。岩下教授は「国境地帯は、国に見捨てられる運命にある」と述べている。今回の沖縄旅行で痛感したのは、この言葉でした。北海道民は、この冷酷な政治論理を充分認識する必要があると思う。

現在ロシア領となっているカレリア地方は、昭和14年までフィンランド領であったが、旧ソ連に奪取されました。フィンランドの代表的な作曲家シベリウスは、新婚旅行にこの土地を訪れた時に着想を得て「カレリア組曲」を作曲しました。この地域を国際列車で通過するのが、私の長年の夢でした。今年こそ実行せねばならない・・・と痛感した沖縄旅行であった。

以 上

崖の写真は、糸満市・平和祈念公園の「バンザイ・クリフ」です。即ち、米軍に追い詰められ逃げ場を失った一般婦女子が飛び降り自殺した崖です。



〔琉球村〕入り口の女性は、琉球美人ではありません。札幌から同行した妻です。

## 役員おひとこと



副会長 鈴木 一雄

当会は7月31日現在会員数が117名となりました。同窓会活動で思うことは、第1に会員の増加です。会員数が増えるに従い財政も豊かになり、活動の幅も広がります。全国同窓会の中でも、本部所在地である千葉・近隣の東京・埼玉・神奈川などの同窓会では、会員数もそれぞれ1,000名を超え活発な活動を行っています。北海道同窓会においても当面150名の会員を目指し努力中です。新会員獲得に皆様のお力添えを是非お願いいたします。

幹事 佐々木 修一

自己紹介

生年月日 1948年11月1日 58歳

医療機関 事務局

現在2006年3月卒業 学士 教養学部

生活と福祉専攻

放送大学大学院文化学研究 修士選科生

今回、同窓会の幹事に選出されました。「放送大学十勝会」で学生の親睦、交流会などを行っておりますが、最近、卒業される学生が多くなってきております。北海道同窓会の任務のできる限りは頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

幹事 小野 千秋

今年度、新たに役員となりました。今まで同窓会の会員ではありましたが、正直なところ活動にも参加したことが無く、まさしく今は右も左も分からない状態です。放送大学は、ただでさえ他の学生との繋がりが薄いのに、卒業してしまうと学習センターに通うことも無くなって益々情報も得られなくなってしまうと思われます。皆様の身近な同窓会として情報を提供すべく、他役員の方々や皆様のお力をたくさんお借りするとは思いますが、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

## 「放送大学北海道同窓会に入って」

幹事 園田 康子

今年3月に卒業することが出来ました。やっと夢が叶ったのです。この感激を忘れないうちにと思い放送大学北海道同窓会に入会しました。そして、この機会に、なにかお手伝いが出来たらと同窓会の幹事になりました。違う形で放送大学に関わることが出来て嬉しいです。微力ですがよろしくお願い致します。

今回6月30日に開催された「第3回 全道生涯学習研究発表会」に参加し、また発表の場をいただき、立派な研究発表の中で、私は年齢を経ってから放送大学に入学し、学んだ経験をお話ししました。なぜ入学したか、困難なこと、良かったこと等です。様々な年代の方、それぞれの想いで、勉強をしているのではと思い、なにかヒントになれば幸いです。勉強ということより日々過ごすなかで、様々な学習を重ねていることが生涯学習ですね、物の視点の広がりとし心豊かになるすばらしいことだと思います。放送大学で学んでいる皆さん、卒業された皆さん共に歩みましょう。

幹事 鈴木 誠

今年3月卒業し同窓会に加入しました。5月の定期総会から会計担当の幹事に就きましたのでよろしくお願い申し上げます。

定年後、自由時間がたっぷりあると思い入学したのですが、その後、町内会活動や趣味の会の役割などですっかり忙しくなり、時間が取れるときにお手伝いが出来ればとお引き受けしましたが、案の定、思うような動きがとれずご迷惑をおかけしています。お忙しい中で同窓会の仕事をこなしている先輩役員の皆様には敬服いたします。これから、同窓会の役割を先輩皆様に教わりながら、少しでもお役に立てるようにこころがけますのでご指導のほどお願いいたします。

私は、両親の事で札幌へ来ました。親が歩けるうちにいけるところに行きたく思います。親戚の家に行ったり、札幌ドームへ足を運んだり（8月のチケットも取ってしまいました。）と、何か家族で楽しめる事を探しながら話をしています。自分も高齢者になりますので、どのように年を重ねるかを考え、視野を広げ、新しいことに目を向けて楽しみたいと思います。それには自分にできる勉強を続けていければ、幸せだと思います。

札幌の学習センターはとても良い環境で勉強ができます。また、お友達とお話もできる場がありますので皆さんも来てお話してみませんか！



#### 幹事 内海 研

放送大学北海道同窓会の幹事となり3年目になります。役員になったお陰で、学習センターの行事にも参加させて頂き多くの方々との交流の場ができたことに感謝しています。又、年々学習センターの行事も活発になってきたようにも思います。

私は、お手伝いほどの役員ですが、今後もいろいろな面で助言を頂き、さらに多くの企画を取り入れて学習センターの行事を発展させていきたいと思っています。



2007年度定期総会で牧野前会長の退任など新旧役員の交代で、第3回全道生涯学習研究発表会の準備が間に合うのか心配でした。しかし、皆さんの協力と道民カレッジ連携で多数の参加者で盛会に充実した内容で終える事ができました。

現在、同窓会に関わりながら、昨年度は5カ所の会社と100軒位の家庭訪問で皆さんの健康管理・保健指導の仕事に携わってきました。そして、健康で生活することに幸せを感じた一年でした。

平成20年4月からは医療保健制度が変わります。将来は、変化していく地域社会への関わりを持ちながら、会員が地域で活躍のできる同窓会に発展させていきたいと思っています。

一人でも多くの卒業生が同窓会に入会、そして役員に加わり、楽しく交流しながら、みなさんの知識・技術そして情報などを共有し活動を展開させていきましょう。今年度も仕事と同窓会そして家族の事など時間の配分を考えながら取り組んでいきたいと思っています。

まだまだ、この同窓会は、種々検討していかなければならないところが沢山あります。会員の多数の活動参加と活発な意見・学習研究などを出し合い、さらに放送大学北海道同窓会をそれぞれの会員にとって有意義な会にしていきたいと思います。



### 会費納入と新入会員募集のお知らせ

2007 年度の継続会員の方は、今年度の年会費を下記口座へ 2007 年 8 月 31 日 (金) までに納入くださるようご協力をお願いします。

また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、住所、電話番号、卒業年月、専攻」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費 (初年度) 1,000 円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。)

郵便口座名 放送大学北海道同窓会

口座番号 02740-0-37725

### 「会員の声」募集中!

現在、会員の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。できるだけ、メールでお願いいたします。

(宛先) 〒060-0817

札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学構内

放送大学北海道学習センター気付

放送大学北海道同窓会

大橋 090-5953-7695 (携帯) 011-682-1362 (FAX)

Chiyoko OHASHI <chiyoko.ohashi@gmail.com>

第 2 回役員会から北海道同窓会のホームページを作成に向かって検討しております。担当は広報担当の小野千秋です。掲載する内容など考案中ですので、ご希望・意見をお願いいたします。

### 新入会員のご紹介! (2007 年 7 月 31 日現在)

結城忠行さん・五島重和さん・工藤慶一さん  
松田恵子さん 以上 4 名

\*〒・住所・電話番号などの変更のときは、必ずご連絡ください。

### 第4回

#### 全道生涯学習研究発表会の発表者募集

～皆様の研究<発表概要><発表内容>を  
お寄せください～

要綱: A4 1-2 枚程度の概要を同窓会まで、お寄せください。発表内容は、後日、改めて提出をお願いいたします。メール添付ファイル・スチック・メモリー・CD・フロッピーなどをお願いいたします。

問合先: 北海道同窓会 担当 園田・大橋  
Chiyoko OHASHI <chiyoko.ohashi@gmail.com>

### 編集後記

季節は、もう真夏、6 月 30 日 (土) の第 3 回全道生涯学習研究発表会を終え、ホッとする間もなく、会報 9 号発行の準備に取り掛かりました。研究発表者や他の方そして会員の皆様の協力で原稿をお寄せいただき、発行できたことを感謝しています。これからも会報の持つ情報源としての役割を果たしていきたいと考えています。

今後も、皆様と一緒に考えながら編集できればと思います。2007/8/10 (広報担当 園田・大橋)

<<広告>>

伊東孝 法律会計事務所

弁護士 公認会計士

伊 東 孝

〒060-0042

札幌市中央区大通西 10 丁目南大通ビル

Tel 011-271-2475